

# 「関係人口の増加や安心・安全のまちに」

## 令和2年度 当初予算総額で303億1,220万円を計上

企画財政課 ☎53-1113

令和2年度の当初予算規模は、一般会計149億9,200万円（前年度比1.9%増）、特別会計88億8,090万円（24.3%減）、企業会計64億3,580万円（160.6%増）、財産区会計350万円（10.3%減）、全体では303億1,220万円（4.8%増）となりました。

「海津市第2次総合計画」では、「水と緑と人がきらめく 輪でつながるまち 海津」を将来像に、人口減少に歯止めをかけるため、「地域の賑わいと活力の向上」、「子育て環境の整備」、「安心・安全な生活環境の整備」の3つの重点施策を掲げて施策を進めています。

将来を担う子どもたちを育て、安心して働き、ずっと住み続けることができる元気な海津市を構築するため、重点施策について全庁横断的な体制で進めるとともに、市民の皆さんや関係団体との協働により取り組みます。

新年度は、この重点施策のうち、「地域の賑わいと活力の向上」に向けて、関係人口、交流人口の増加を図るため、まちの魅力を向上させる取り組み、ソーシャルメディアを活用したシティプロモーション事業を推進します。また、駒野工業団地の完成に伴う優良企業の誘致、海津苑リニューアルオープン積極的なPRなどにより、都市としての賑わいを創出できるよう全力で取り組みます。

「子育て環境の整備」、「安心・安全な生活環境の整備」に向けては、医療費の助成など引き続き子育て支援を行うとともに、防災行政無線Web配信システムの導入等による防災面の強化を推進します。

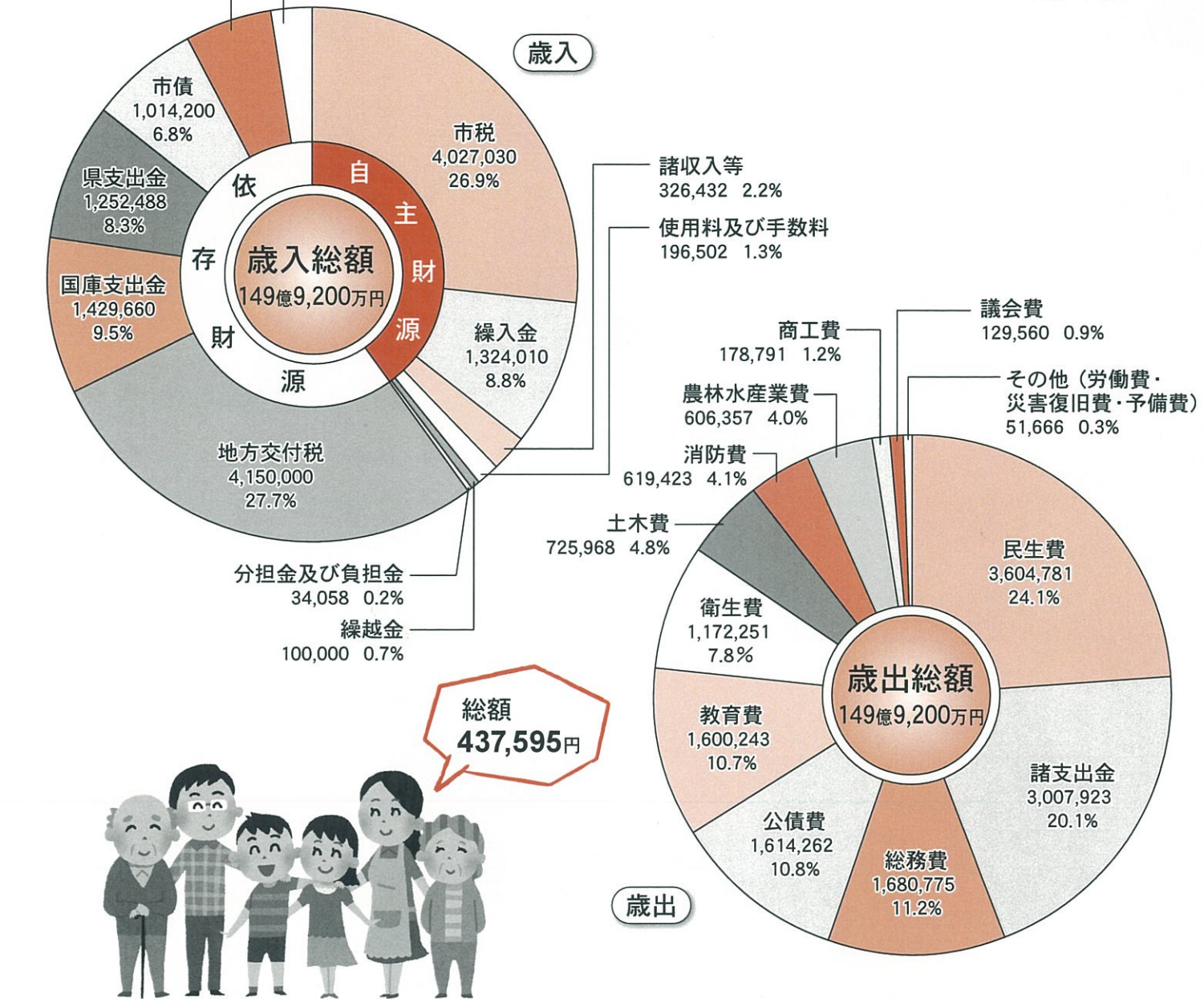
自主財源の確保が非常に厳しい中、将来を担う子どもたちに過度な負担を強いることなく、市の持続的な発展を図るためには、未来を見据えた必要な手だてを講じ、新たな活力を創造することが重要です。事務事業の見直しなどの行財政改革をこれまで以上に進め、より一層の責任と自覚を持って市政運営に取り組みます。

### 令和2年度 会計別当初予算

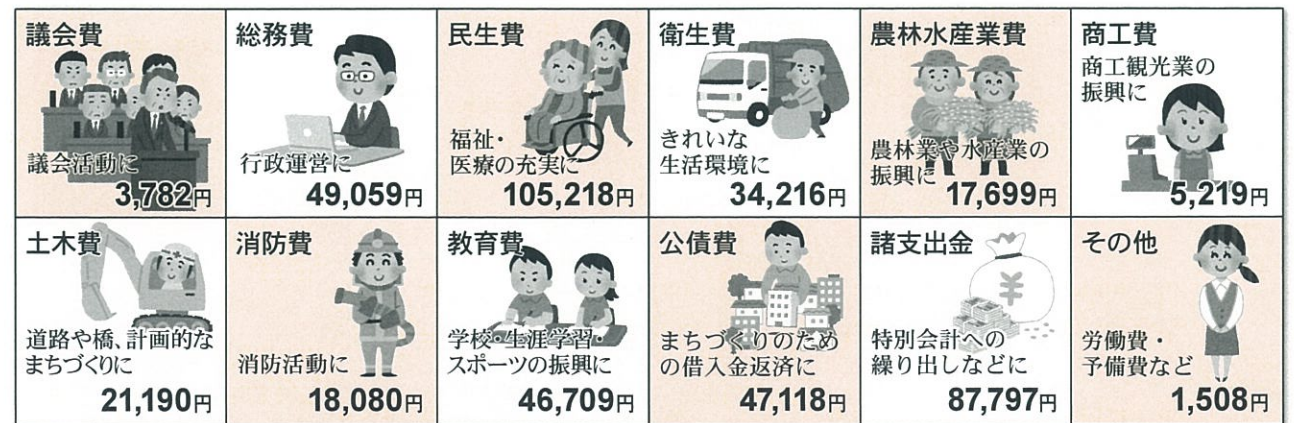
(単位：千円)

会計名	予算額	前年度比較(増減額)
一般会計	14,992,000	276,000
特別会計	8,880,900	△2,856,700
クレール平田運営特別会計	108,800	△7,100
月見の里南濃運営特別会計	113,100	△4,200
介護老人保健施設在宅介護支援センター特別会計	52,000	1,200
国民健康保険特別会計	4,411,200	△211,200
介護保険特別会計	3,386,400	△72,400
後期高齢者医療特別会計	809,400	50,900
△下水道事業特別会計	0	△2,613,900
企業会計	6,435,800	3,966,100
水道事業会計	1,498,000	30,000
下水道事業会計	4,006,400	4,006,400
介護老人福祉施設事業特別会計	265,200	△55,100
介護老人保健施設事業特別会計	666,200	△15,200
駒野奥条入会財産区会計	1,800	△600
羽沢財産区会計	1,700	200
合計	30,312,200	1,385,000

### 令和2年度 一般会計当初予算 (単位：千円)



### 市民1人あたりの予算の使いみち (一般会計)



※令和2年1月1日現在 市の人口34,260人